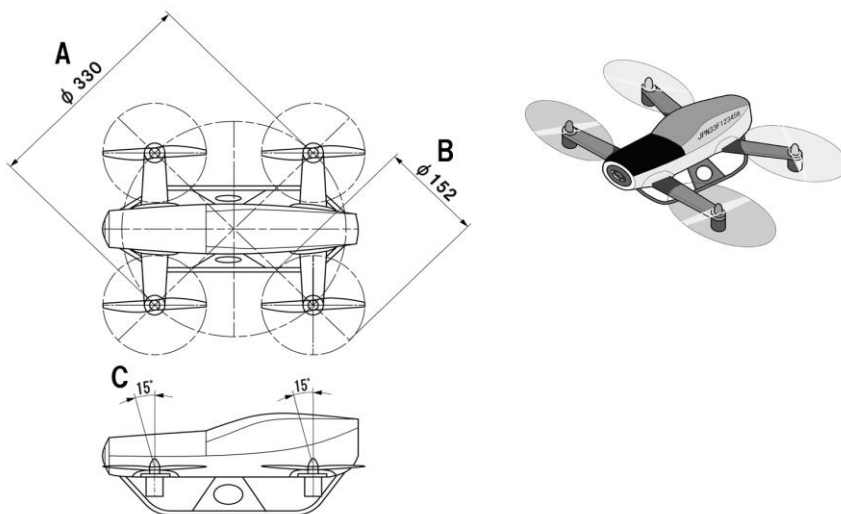


F3U マルチローター機に伴う模型飛行士登録制度改定について

はじめに

FAI（国際航空連盟）CIAM(模型航空機部門)では、2016年5月 F3U マルチローター機の国際競技規定（スポーティング・コード）に基づき、模型航空機世界選手権大会等の開催に向け本格的に動きだしました。当連盟は FAI 傘下の国内模型航空機の唯一の統括団体として日本選手権開催、世界選手権団の派遣、技能検定試験、国内および国際審査員の選出、認定を行っておりますが、今回新たな F3U 競技大会の開催準備にあたり、2017年1月1日より模型飛行士登録制度の改定を行い下記の機体仕様の範囲のマルチローター機を個人賠償責任保険の付与の対象とする事といたしました。



最大離陸機体重量（動力バッテリーを含む）：1,000 g

最大動力バッテリー電圧（リポ4セルまで）：17.0V

最大推力軸間距離（A）：330mm

最大プロペラ直径（B）：152mm（6インチ）

最大固定チルト角度（C）：15度（飛行中可動不可）

マルチローター機の定義

CIAM では F3U カテゴリーの機体名称を、いわゆるドローン、マルチローターヘリ、UAV 等の曖昧なものではなく、機体軸に垂直な独立した3軸以上の電動モーター推力軸を有する、マルチローター機として定義しており、当連盟でも今後はマルチローター機以外の名称は使用しない事といたしました。チルト角度については固定にて 15 度までと定義されております。